

北海道の航空の状況（データ集）

	＜頁＞
1 道内空港の現況	P 1
2 北海道の航空路線	P 2
3 国内航空ネットワークの状況	P 3～5
① 路線網	P 3
② 路線別輸送人員の推移（旅客数、利用率）	P 4
③ 空港別乗降客数の推移	P 5
④ 空港別貨物取扱量の推移	P 5
4 国際航空ネットワークの状況	P 6～8
① 航空路線一覧	P 6
② 路線別輸送人員の推移	P 7
③ 空港別乗降客数の推移	P 8
④ 空港別貨物取扱量の推移	P 8
5 道内観光客数（訪日外国人等）の推移	P 9
① 観光入込客数（実人数）の推移	P 9
② 訪日外国人来道者数（実人数）の推移	P 9
6 道内空港におけるC I Q機関の体制等	P 10
7 国内L C Cの概要と旅客数の推移	P 11～13
8 チャーター便運航の推移	P 14～15
9 離島航空路の状況	P 16
① 離島航空路一覧	P 16
② 離島航空路における輸送人員の推移	P 16
③ 離島航空路線に対する支援	P 16
10 北海道の空港の運営委託に向けた取組状況	P 17
11 広域観光周遊ルート形成促進事業及び認定計画	P 18～20
12 航空・空港関係団体の取組	P 21
13 行政機関による主な施策と効果	P 22

道内空港の現況

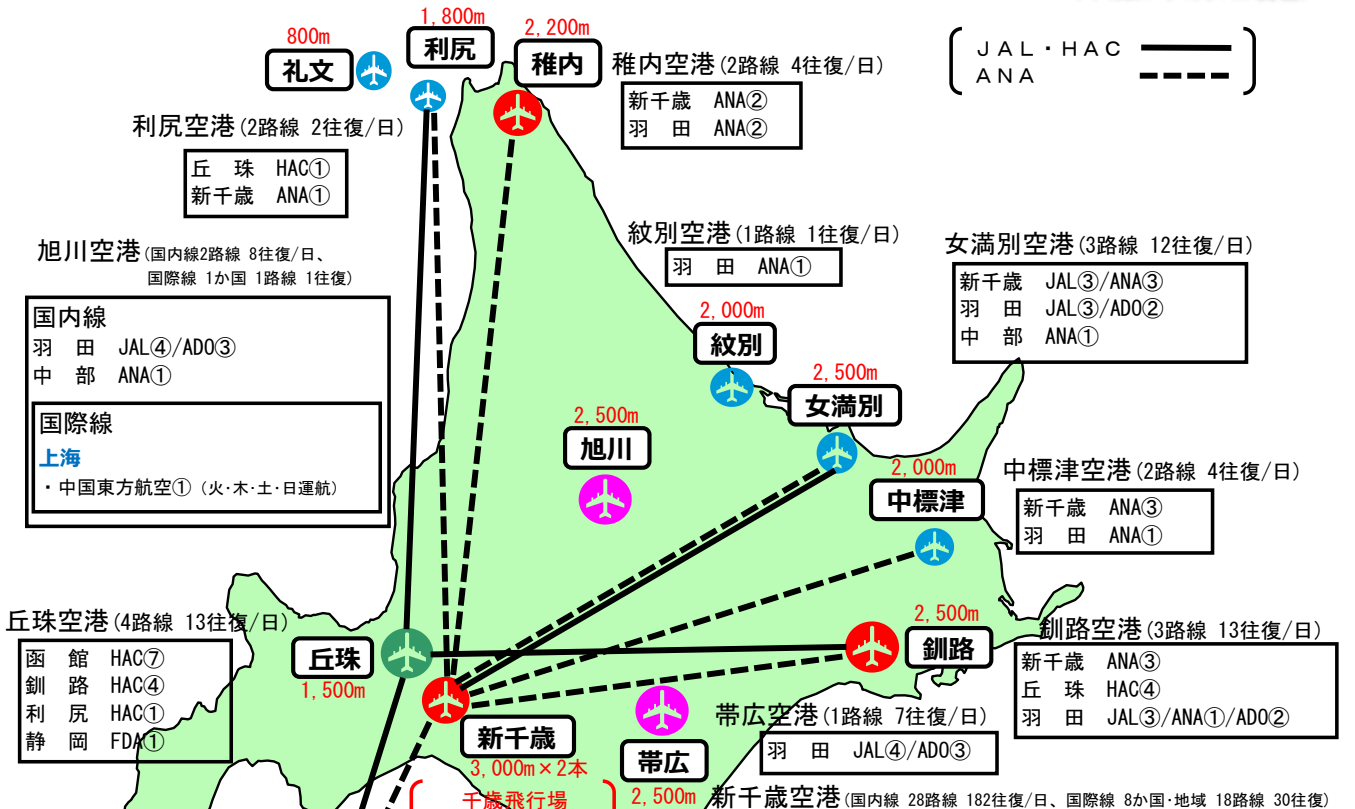
(H29.4月現在)

空港名	所在地	設置管理者	公示面積 (ha)	滑走路規模 (m)	運用時間	使用開始年月等
新千歳	千歳市 苫小牧市	国土交通大臣	719	A 3,000×60 B 3,000×60	00:00～24:00 (24時間)	S63. 7月(A) H 8. 4月(B)
稚内	稚内市	国土交通大臣	96	2,200×45	08:30～18:30 (10時間)	S35. 4月(1,200m) S59. 3月(1,800m) S63.10月(2,000m) H21.11月(2,200m)
釧路	釧路市 白糠町	国土交通大臣	160	2,500×45	08:00～21:00 (13時間)	S36. 7月(1,200m) S48.11月(1,800m) S59.12月(2,100m) H 1.12月(2,300m) H12.11月(2,500m)
函館	函館市	国土交通大臣	164	3,000×45	07:30～20:30 (13時間)	S36. 4月(1,200m) S46.11月(2,000m) S53.12月(2,500m) H11. 3月(3,000m)
旭川	旭川市 東神楽町	設置者:国土交通大臣 管理者:旭川市	214	2,500×60	08:00～21:00 (13時間)	S41. 6月(1,200m) S57. 2月(1,640m) S57.11月(2,000m) H 9. 2月(2,500m)
帯広	帯広市	設置者:国土交通大臣 管理者:帯広市	282	2,500×45	08:00～21:00 (13時間)	S39.12月(1,200m) S47.12月(1,500m) S56. 3月(2,000m、新滑走路) S60.11月(2,500m)
女満別	大空町 美幌町	北海道	167	2,500×45	08:00～21:00 (13時間)	S36. 4月(道に移管) S38. 4月(1,200m) S60. 4月(2,000m、新滑走路) H12. 2月(2,500m)
中標津	中標津町	北海道	116	2,000×45	08:30～18:30 (10時間)	S40. 7月(1,200m) S48. 8月(道に移管) H 1. 7月(1,200m、新滑走路) H 2. 7月(1,800m) H 9. 3月(2,000m)
紋別	紋別市	北海道	129	2,000×45	09:00～17:00 (8時間)	S41. 7月(1,200m) S48. 8月(道に移管) H11.11月(2,000m、新滑走路)
利尻	利尻富士町	北海道	66	1,800×45	09:00～17:00 (8時間)	S37. 8月(600m) S49. 5月(800m) S51. 3月(道に移管) H9. 4月(800m、新滑走路) H11. 6月(1,800m)
礼文	礼文町	北海道	11	800×25	休止中	S53. 6月(800m、道に移管) H21. 4月～H33. 3月まで休止
奥尻	奥尻町	北海道	54	1,500×45	09:00～17:00 (8時間)	S49. 9月(800m) S50. 4月(道に移管) H16. 3月(800m、新滑走路) H18. 3月(1,500m)
札幌 (丘珠)	札幌市	防衛大臣	103	1,500×45	07:30～20:30 (13時間)	S36.11月(1,000m) S42.11月(1,400m) H16. 3月(1,500m)

北海道調べ

北海道の航空路線

(平成29年6月1日現在)



国内線
羽田 JAL④/ADO③
中部 ANA①

国際線
上海
・中国東方航空① (火・木・土・日運航)

函館 HAC⑦
釧路 HAC④
利尻 HAC①
静岡 FDA①

奥尻空港 (1路線 1往復/日)
函館 HAC①

奥尻 1,500m

函館空港 (国内線 7路線 22往復/日、国際線 2か国・地域 2路線 3往復)

国内線
新千歳 ANA②
丘珠 HAC⑦
奥尻 HAC①
羽田 JAL③/ANA③/ADO②
成田 VNL①
伊丹 JAL①/ANA①
中部 ADO①

国際線
天津
・天津航空① (火・木運航)
台北
・エバー航空① (毎日運航)
・タイガーエア① (月・水・金・日運航)

国内路線	46	路線	239	往復
道内路線	10	路線	30	往復
道外路線	36	路線	209	往復
国際路線	21	路線	34	往復
合計	67	路線	273	往復

※ 往復便数は、路線毎の1か月の最大便数で整理

※ JAL～日本航空、ANA～全日本空輸、ADO～エア・ドゥ、SKY～スカイマークエアライン、
FDA～フジドリームエアラインズ、HAC～北海道エアシステム、
APJ～ピーチエアライン、JJP～ジェットスター・ジャパン、VNL～バニラ・エア、
SJO～春秋航空日本

国内線
函館 ANA②
釧路 ANA③
中標津 ANA③
女満別 JAL③/ANA③
稚内 ANA②
利尻 ANA①

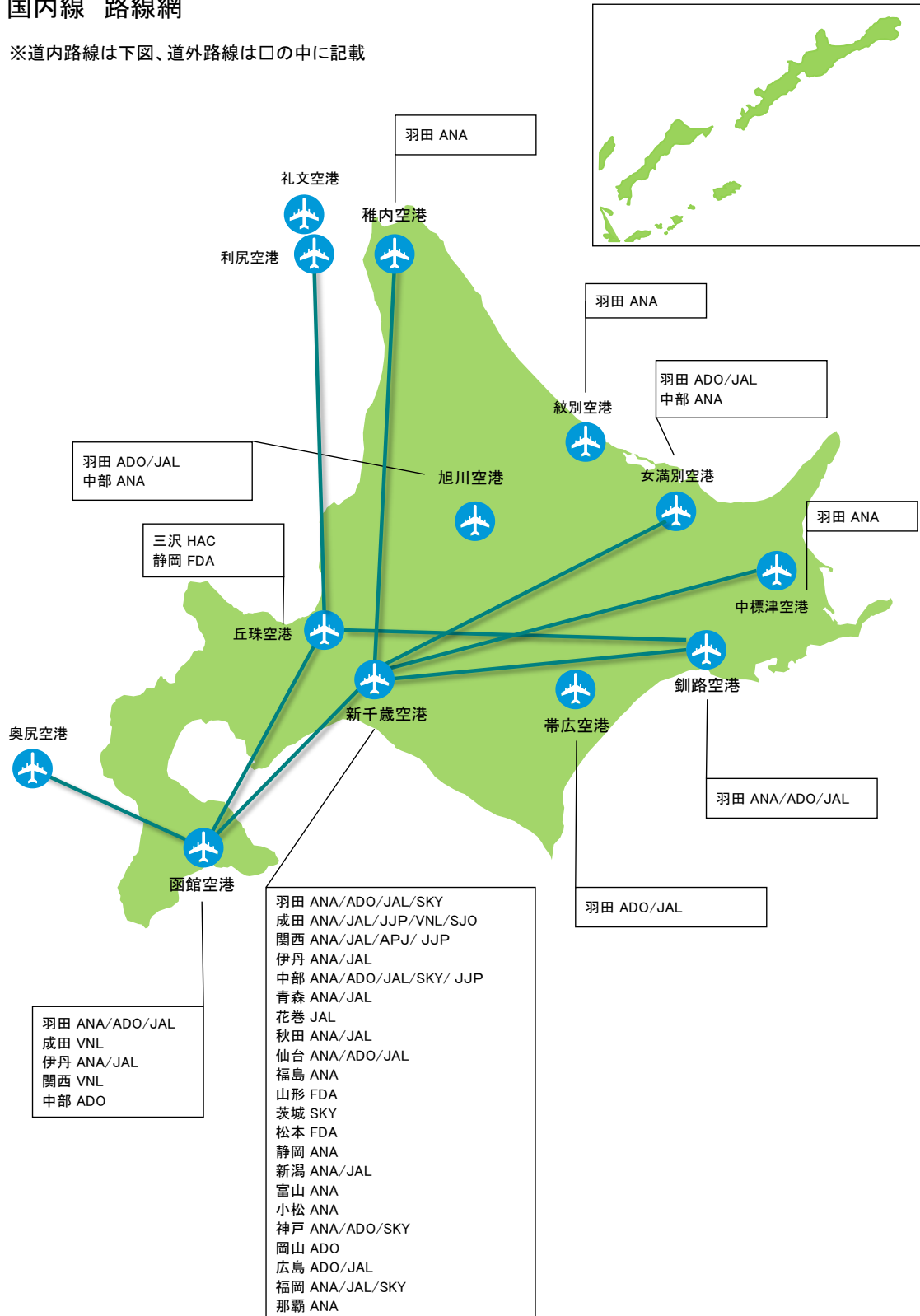
羽田 JAL⑩/ANA⑩/ADO⑩/SKY⑧
成田 JAL①/ANA②/JJP⑧/VNL⑦
SJO①
伊丹 JAL④/ANA⑥
関西 JAL③/ANA④/APJ③/JJP③
中部 JAL⑤/ANA④/ADO③/SKY③
JJP②
青森 JAL③/ANA②
秋田 JAL②/ANA②
花巻 JAL③
仙台 JAL⑤/ANA④/ADO④
福島 ANA①
山形 FDA①
茨城 SKY②
静岡 ANA①
松本 FDA①
新潟 JAL③/ANA③
富山 ANA①
小松 ANA①
神戸 ANA①/ADO②/SKY③
岡山 ADO①
広島 JAL①/ADO①
福岡 JAL②/ANA①/SKY①
那覇 ANA①

国際線
ユナイテッド
・オーロラ航空① (月・水・土運航)
ソウル
・大韓航空② (①毎日運航、②土除き運航)
・アジアナ航空① (毎日運航)
・ジンエアー① (毎日運航)
・ティーウェイ航空① (毎日運航)
・チェジュ航空① (毎日運航)
釜山
・大韓航空① (火・木・土運航)
・エアプサン① (月・火・木・金・土・日運航)
大邱
・エアプサン① (火・水・金・土・日運航)
北京
・中国国際航空① (毎日運航)
天津
・天津航空① (金・日運航)
上海
・中国東方航空① (毎日運航)
・春秋航空① (毎日運航)
・上海吉祥航空① (毎日運航)
杭州
・海南航空① (月・金・土・日運航)
南京
・中国東方航空① (木・日運航)
長沙
・海南航空① (火・土運航)
香港
・香港航空② (①毎日運航、②水・日運航)
・キャセイパシフィック航空① (火・水・木・土・日運航)
台北
・チャイナエアライン① (毎日運航)
・エバー航空② (①・②毎日運航)
高雄
・チャイナエアライン① (火・水・金・土・日運航)
バンコク
・タイ国際航空① (月・火・水・金・日運航)
クアラルンプール
・エアアジアX① (月・水・金・日運航)
シンガポール
・スクート① (火・木・土運航)
グアム
・ユナイテッド航空① (月・金運航)
ホノルル
・ハワイアン航空① (水・金・日運航)

国内航空ネットワークの状況

① 国内線 路線網

※道内路線は下図、道外路線は口の中に記載

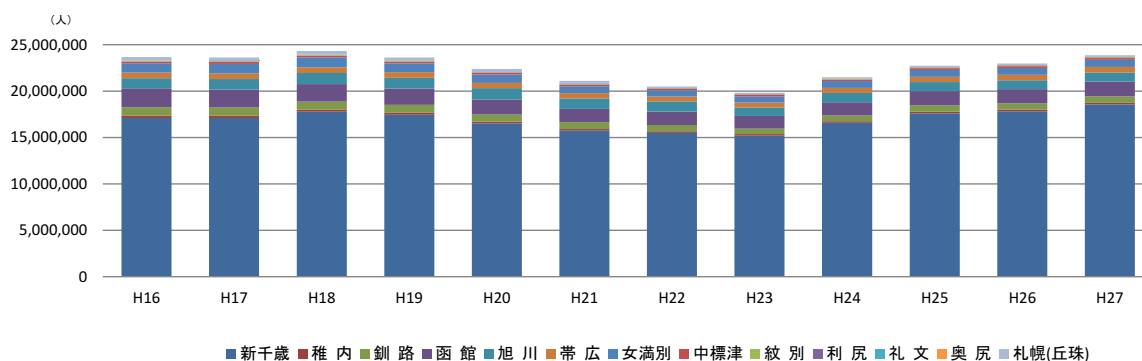


(H29.4月現在)
北海道調べ

③ 国内線 空港別乗降客数の推移

(単位：人)

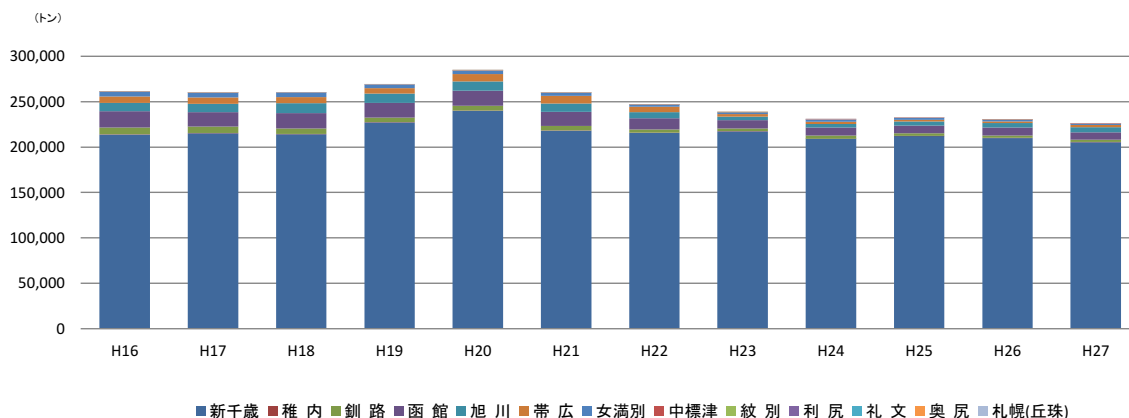
年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
新千歳	17,104,866	17,110,876	17,768,210	17,461,708	16,515,280	15,741,248	15,503,128	15,203,131	16,575,480	17,600,619	17,828,712	18,561,147
稚内	251,839	234,981	231,800	219,619	193,661	174,043	170,209	169,141	175,201	178,616	182,166	183,049
釧路	890,726	890,397	873,708	834,074	775,323	726,282	671,199	590,767	624,937	671,069	667,555	685,355
函館	2,050,727	1,942,066	1,881,326	1,753,316	1,592,278	1,440,712	1,461,254	1,350,424	1,419,174	1,534,535	1,541,295	1,587,575
旭川	1,077,070	1,123,426	1,190,448	1,157,266	1,238,053	1,126,524	1,076,834	918,659	1,013,514	994,422	948,808	974,174
帯広	619,555	612,147	606,727	607,195	578,366	558,103	521,062	530,961	544,008	567,331	583,049	612,580
女満別	991,769	1,008,020	1,070,426	944,536	883,461	760,045	684,250	669,648	720,416	729,916	734,179	764,836
中標津	209,597	223,330	207,193	198,037	176,240	167,522	170,175	175,908	189,628	192,852	195,138	199,386
紋別	53,228	55,754	54,267	48,897	47,977	47,375	50,638	48,082	55,789	56,245	69,479	72,276
利尻	37,427	35,662	30,779	27,381	29,772	30,648	27,554	24,506	31,603	37,366	37,483	38,190
礼文	0	487	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
奥尻	12,886	11,786	12,105	10,370	10,587	9,934	9,836	8,570	9,030	10,265	11,095	10,521
札幌(丘珠)	372,984	375,797	383,242	367,935	352,845	326,871	155,431	128,082	131,722	161,806	173,920	179,429
計	23,672,674	23,624,729	24,310,231	23,630,334	22,393,843	21,109,307	20,501,570	19,817,879	21,490,502	22,735,042	22,972,879	23,868,518



④ 国内線 空港別貨物取扱量の推移

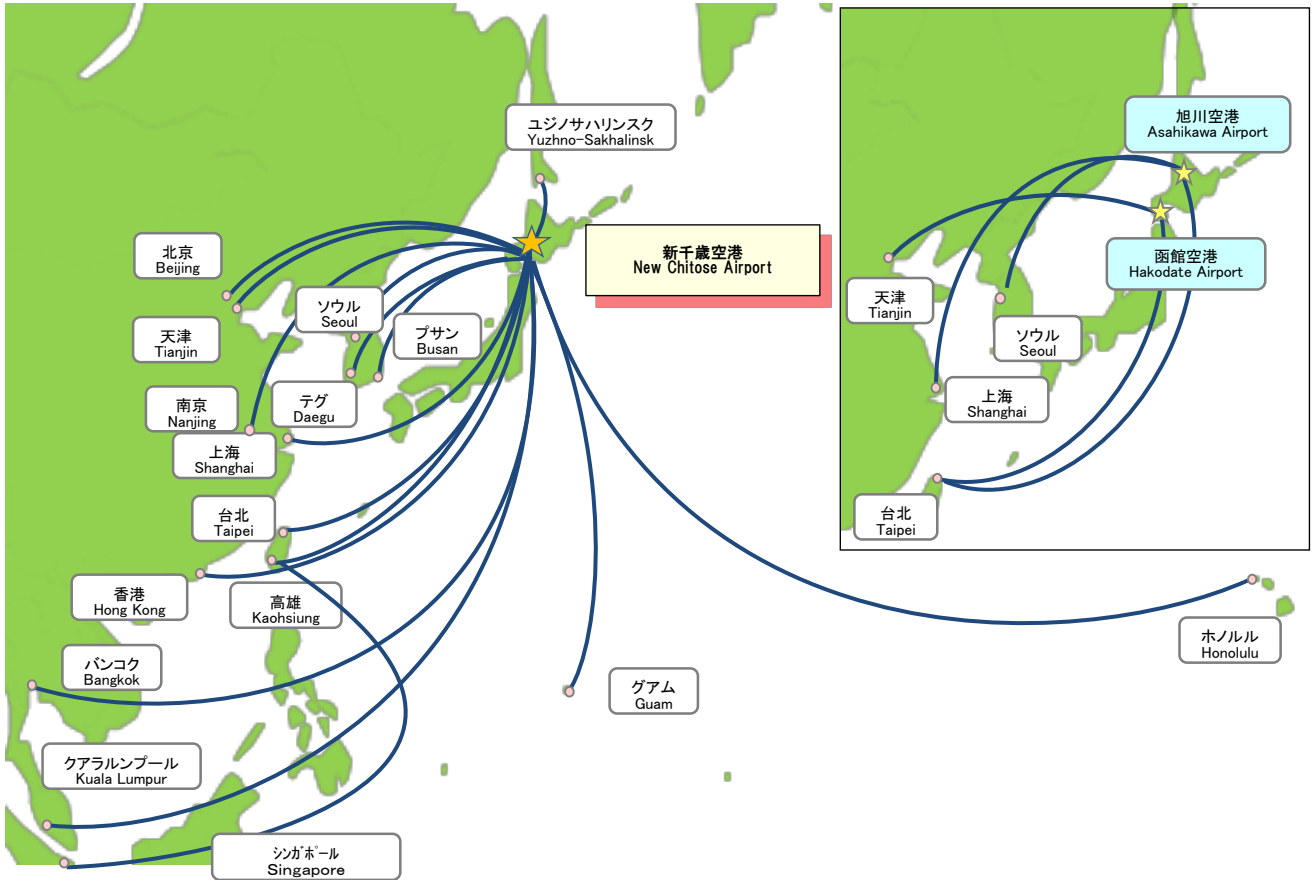
(単位：トン)

年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
新千歳	213,605	215,047	213,973	227,063	239,861	217,996	215,638	217,422	209,141	212,171	209,903	205,279
稚内	600	593	502	416	281	171	173	178	196	188	219	225
釧路	7,217	6,786	6,008	4,877	5,381	5,184	3,745	2,940	3,257	2,716	2,545	2,453
函館	17,931	16,164	17,065	16,190	16,468	15,341	12,049	9,220	8,875	8,461	8,667	8,380
旭川	9,326	8,988	10,816	10,451	10,285	9,252	6,800	3,716	3,980	4,497	4,963	5,571
帯広	6,988	7,245	6,474	5,727	8,286	8,568	6,034	2,726	2,496	1,937	1,852	2,441
女満別	5,370	4,799	5,035	4,068	3,826	3,142	2,506	2,110	2,338	2,084	1,880	1,532
中標津	255	300	284	378	343	322	169	361	407	558	581	438
紋別	26	37	9	49	70	70	75	29	0	0	1	0
利尻	8	6	5	4	4	1	3	0	4	3	3	3
礼文	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
奥尻	10	5	0	0	13	19	3	3	1	2	4	2
札幌(丘珠)	24	23	16	12	31	31	17	8	2	7	10	3
計	261,360	259,993	260,187	269,235	284,849	260,097	247,212	238,713	230,697	232,624	230,628	226,327



国土交通省「空港管理状況調査」より

国際航空ネットワークの状況



①国際航空路線一覧

(平成29年4月現在)

路線	航空会社	路線	航空会社	路線	航空会社
新千歳ーソウル	大韓航空	新千歳ー上海	中国東方航空	新千歳ーシカゴ ^ホ ール	スクート
	ジンエアー		春秋航空	新千歳ーグアム	ユナイテッド ^ド 航空
	テーウエイ航空	新千歳ー南京	中国東方航空	新千歳ーホノルル	ハワイアン航空
	アジアナ航空		新千歳ー香港	キャセイパシフィック航空	新千歳ーユジノサハリンスク
	チェジュ航空	香港航空		函館ー天津	天津航空
新千歳ーテグ	エアプサン	新千歳ー台北	エバー航空	函館ー台北	エバー航空
新千歳ープサン	大韓航空		チャイナエアライン		タイガー ^ー エア台湾
	エアプサン	新千歳ー高雄	チャイナエアライン	旭川ーソウル	アジアナ航空
新千歳ー北京	中国国際航空	新千歳ーバンコク	タイ国際航空	旭川ー台北	エバー航空
新千歳ー天津	天津航空	新千歳ークアラルンプール	エアアジアX	旭川ー上海	中国東方航空

北海道調べ

② 国際線 路線別輸送人員の推移

(単位:人)

区分 \ 年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27
新千歳－中国	95,529	78,212	92,249	78,262	144,254	235,103
新千歳－韓国	242,366	299,956	331,703	332,224	437,598	576,846
新千歳－台湾	259,251	288,438	395,742	457,468	493,730	714,159
新千歳－香港	190,529	144,638	174,015	202,790	270,167	364,424
新千歳－その他	36,932	31,623	96,303	206,140	243,029	327,048
函館－中国	—	—	—	—	334	54,560
函館－韓国	36,086	8,168	19,238	207	—	—
函館－台湾	—	—	41,798	138,266	158,773	148,219
旭川－中国	—	—	—	—	45,047	101,929
旭川－韓国	22,692	6,378	14,115	13,747	11,305	12,518
旭川－台湾	—	—	10,646	77,362	100,924	75,526
釧路－台湾	—	—	9,676	20,819	3,808	—

※不定期(チャーター)便は除く。

中国(22～24年度):北京・上海・大連・瀋陽の合計値

中国(25～26年度):北京・上海・天津・杭州の合計値

韓国:ソウル・釜山の合計値

台湾:台北・高雄の合計値

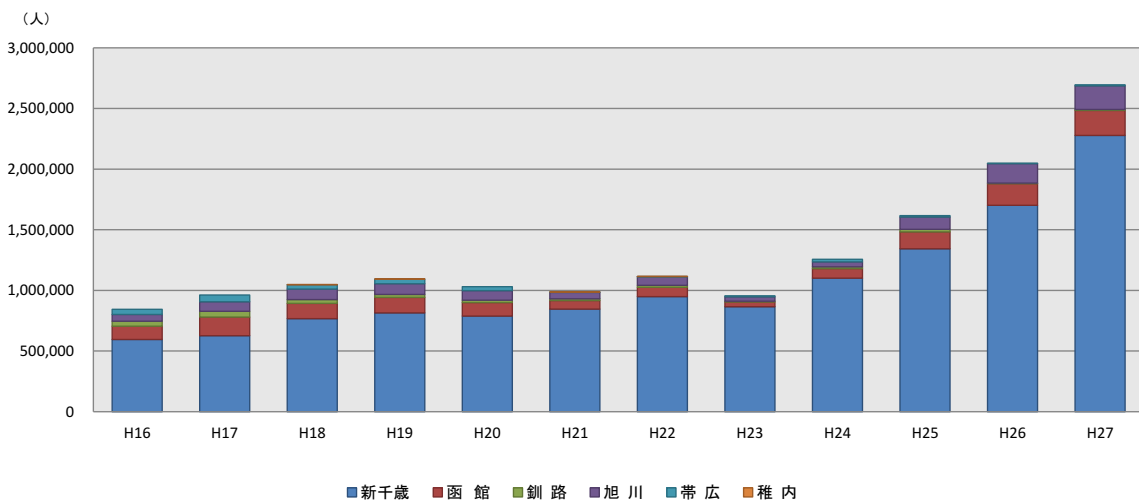
その他(22～23年度):グアム・ホノルル・バンコク・ハバロフスク・ユジノサハリンスクの合計値

その他(24～27年度):グアム・ホノルル・バンコク・クアラルンプール・ユジノサハリンスクの合計値

③ 国際線 空港別乗降客数の推移

(単位:人)

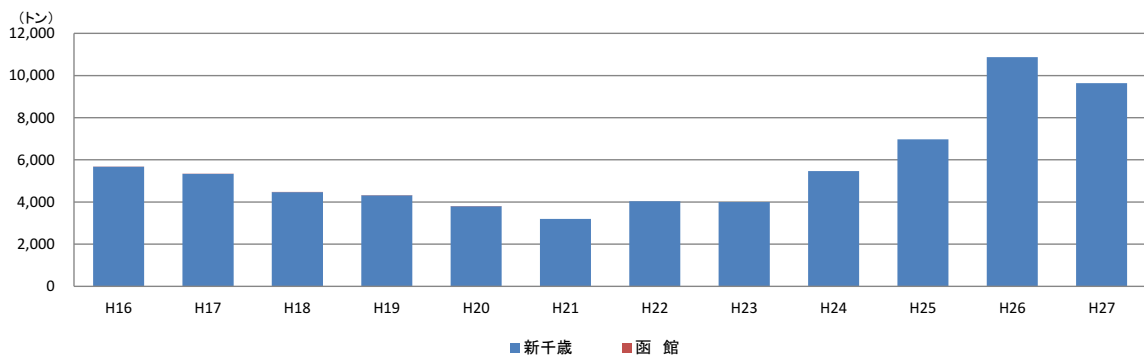
年度 空港	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
新千歳	595,011	627,124	768,140	814,497	788,563	845,474	949,532	886,380	1,102,001	1,343,530	1,701,849	2,277,917
函館	110,719	152,747	124,770	128,059	111,675	70,779	76,319	38,426	77,668	139,175	177,807	206,559
釧路	40,778	47,956	32,244	25,058	19,473	15,593	16,612	7,067	15,231	20,819	5,269	8,295
旭川	55,582	79,267	85,518	87,917	78,888	51,190	70,697	35,687	40,356	101,029	160,492	194,464
帯広	42,524	55,096	36,475	38,257	31,572	3,359	1,810	8,462	21,194	12,712	3,540	7,164
稚内	0	0	244	745	0	304	1,028	0	0	0	0	0



④ 国際線 空港別貨物取扱量の推移

(単位:トン)

年度 空港	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
新千歳	5,677	5,337	4,469	4,319	3,798	3,195	4,039	3,999	5,472	6,972	10,869	9,639
函館	3	3	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0



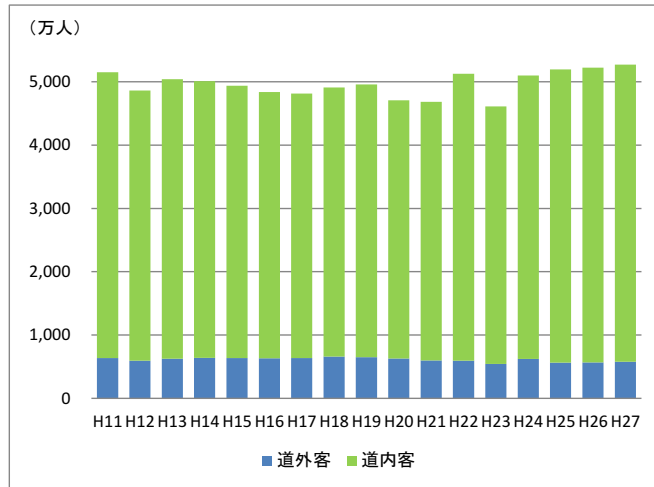
国土交通省「空港管理状況調査」より

道内観光客数(訪日外国人等)の推移

①観光入込客数(実人数)の推移

(単位: 万人、%)

年度	総数	内 訳	
		道外客	道内客
H11	5,150	635	4,515
H12	4,862	596	4,266
H13	5,041	627	4,414
H14	5,008	638	4,370
H15	4,939	635	4,304
H16	4,839	632	4,207
H17	4,813	635	4,178
H18	4,909	659	4,250
H19	4,958	649	4,309
H20	4,707	628	4,079
H21	4,682	597	4,085
H22	5,127	595	4,532
H23	4,612	544	4,068
H24	5,098	623	4,475
H25	5,194	565	4,629
H26	5,223	569	4,654
H27	5,270	577	4,693



注1) 四捨五入のため合計が合致しない場合がある。

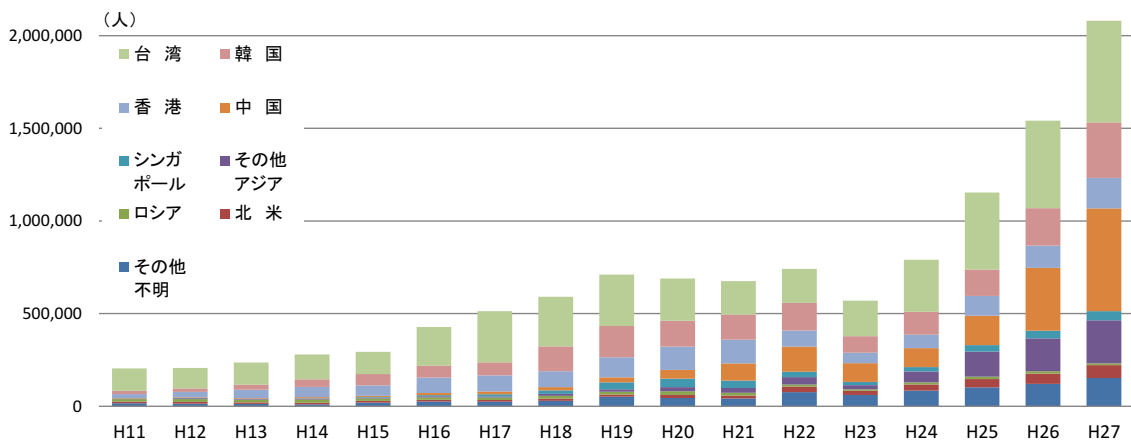
注2) H22年度から新方式により算定。

②訪日外国人来道者数(実人数)の推移

(単位: 人)

年度	中国	韓国	台湾	香港	シンガポール	その他アジア	ロシア	北米	その他不明	合計
H11	2,000	17,800	121,100	20,900	1,200	2,750	13,600	8,400	16,450	204,200
H12	2,400	19,900	109,700	29,400	1,400	4,800	15,450	9,400	14,150	206,600
H13	3,900	27,850	119,450	45,900	1,550	3,900	12,900	7,900	12,750	236,100
H14	5,200	41,900	133,200	55,450	2,250	4,800	17,450	8,350	10,750	279,350
H15	5,800	61,200	119,750	56,600	4,000	4,200	13,350	8,780	20,100	293,780
H16	12,050	63,850	208,600	82,750	6,000	5,250	12,900	10,200	25,450	427,050
H17	15,650	70,050	276,800	86,500	11,800	5,650	12,750	9,700	24,750	513,650
H18	17,350	133,850	267,900	86,050	18,950	10,350	15,400	11,050	29,750	590,650
H19	26,950	169,300	277,400	108,000	37,150	14,000	14,450	12,200	51,500	710,950
H20	47,400	139,100	227,600	126,000	45,300	22,900	19,400	16,450	45,000	689,150
H21	92,700	135,300	180,850	127,550	40,450	25,250	16,250	14,700	42,300	675,350
H22	135,500	148,900	183,700	87,100	28,800	40,100	11,300	30,500	75,800	741,700
H23	101,400	89,700	191,200	56,200	17,700	22,100	7,400	22,900	61,100	569,700
H24	102,200	123,600	280,800	72,600	23,500	59,000	11,100	33,100	84,500	790,400
H25	158,300	141,600	415,600	107,300	35,600	135,200	13,100	44,200	102,200	1,153,100
H26	340,000	201,100	472,700	120,200	40,900	177,600	12,800	55,500	120,500	1,541,300
H27	554,300	299,500	547,800	165,100	49,800	231,500	10,200	68,800	153,000	2,080,000

注) H22年度から新方式により算定。



「北海道観光入込客数調査報告書」より

道内空港におけるC I Q機関の体制等

(H28.11.1現在)

区分	空港名	税 関	出 入 国 管 理	検 疫
指定空港	新千歳	常駐職員対応	常駐職員対応	常駐職員対応
	函 館	函館税関対応 (車で約30分)	函館港出張所対応 (車で約30分)	常駐職員対応
	旭 川	常駐職員対応	旭川出張所 (車で約30分)	常駐職員対応
非指定空港	釧 路	釧路税関支署対応 (車で約30分)	釧路港出張所対応 (車で約30分)	釧路出張所対応 (車で約30分)
	帯 広	十勝出張所対応 (車で約1時間)	釧路港出張所対応 (車で約2時間)	釧路出張所対応 (車で約2時間)
	稚 内	稚内税関支署対応 (車で約30分)	稚内港出張所対応 (車で約30分)	稚内出張所対応 (車で約30分)
	女満別	釧路税関支署対応 (車で約3時間)	釧路港出張所対応 (車で約2時間30分)	釧路出張所対応 (車で約2時間30分)
	中標津	根室税関支署対応 (車で約1時間30分)	釧路港出張所対応 (車で約2時間)	釧路出張所対応 (車で約2時間)

北海道調べ

国内LCCの概要

(平成29年4月現在)

1 ピーチ・アビエーション (Peach Aviation) 株式会社 (APJ)

- (1)本社：大阪府泉南郡田尻町
- (2)資本：150億5万円（資本金75億1,505万円）
- (3)株主：ANAホールディングス(38.67%)、
ファーストイースタン・インベストメントグループ(33.33%)、
株産業革新機構(28%)
- (4)拠点空港：関西国際空港、那覇空港
- (5)保有機材：18機 A320-200型機（180席）
- (6)運航開始：H24.3
- (7)運航路線：国内(14) 関西－新千歳、仙台、成田、松山、福岡、長崎、宮崎、鹿児島、那覇、石垣
那覇－成田、福岡
成田－新千歳、福岡
国際(12) 関西－ソウル、釜山、香港、上海、台北、高雄
那覇－ソウル、香港、台北
羽田－ソウル、上海、台北



2 バニラ・エア (Vanilla Air) 株式会社 (VNL)

- (1)本社：千葉県成田市
- (2)資本：150億円（資本金75億円）
- (3)株主：ANAホールディングス(100%)
- (4)拠点空港：成田国際空港
- (5)保有機材：10機 A320-200型機（180席）
- (6)運航開始：H25.12
- (7)運航路線：国内(6) 成田－新千歳、那覇、奄美、函館、関西
関西－函館
国際(7) 成田－台北、高雄、香港、ホーチミン、セブ
関西－台北
那覇－台北



3 ジェットスター・ジャパン (JetStar Japan) 株式会社 (JJP)

- (1)本社：千葉県成田市
- (2)資本金：410億円
- (3)株主：カンタス航空グループ(33.3%)、JAL(33.3%)、
三菱商事(16.7%)、東京センチュリーリース(16.7%)
- (4)拠点空港：成田国際空港
- (5)運航開始：H24.7
- (6)保有機材：21機 A320-200型機（180席）
- (7)運航路線：国内(16) 成田－新千歳、関西、松山、高松、福岡、熊本、大分、鹿児島、那覇
関西－新千歳、福岡、那覇
中部－新千歳、福岡、鹿児島、那覇
国際(8) 成田－台北、香港、マニラ
関西－台北、香港、マニラ
中部－台北、マニラ



4 春秋航空日本（SPRING AIRLINES Japan）株式会社（SJO）

- (1)本 社：千葉県成田市
- (2)資本金：60億円
- (3)株 主：春秋航空股份有限公司(33.0%)、
スカイスターファイナンシャルマネジメント(31.0%)、
山佐(25.0%)、アイビスLCC投資事業組合(6.0%)ほか
- (4)拠点空港：成田国際空港
- (5)運航開始：H26.8.1
- (6)保有機材：3機 B737-800型機（189席）
- (7)運航路線：国内(4) 成田－新千歳、関西、広島、佐賀
国際(2) 成田－武漢、重慶



5 エアアジア・ジャパン（AirAsia Japan）株式会社（WAJ）

- (1)本 社：愛知県常滑市
- (2)資本金：20億円
- (3)株 主：エアアジア(33.0%)、楽天(18%)、
ノビアホールディングス(18%)、アルペン(18%)ほか
- (4)拠点空港：中部国際空港
- (5)運航開始（予定）：平成29年初旬
- (6)保有機材：2機 A320-200型機（180席）
- (7)運航路線：国内(0)
国際(0)

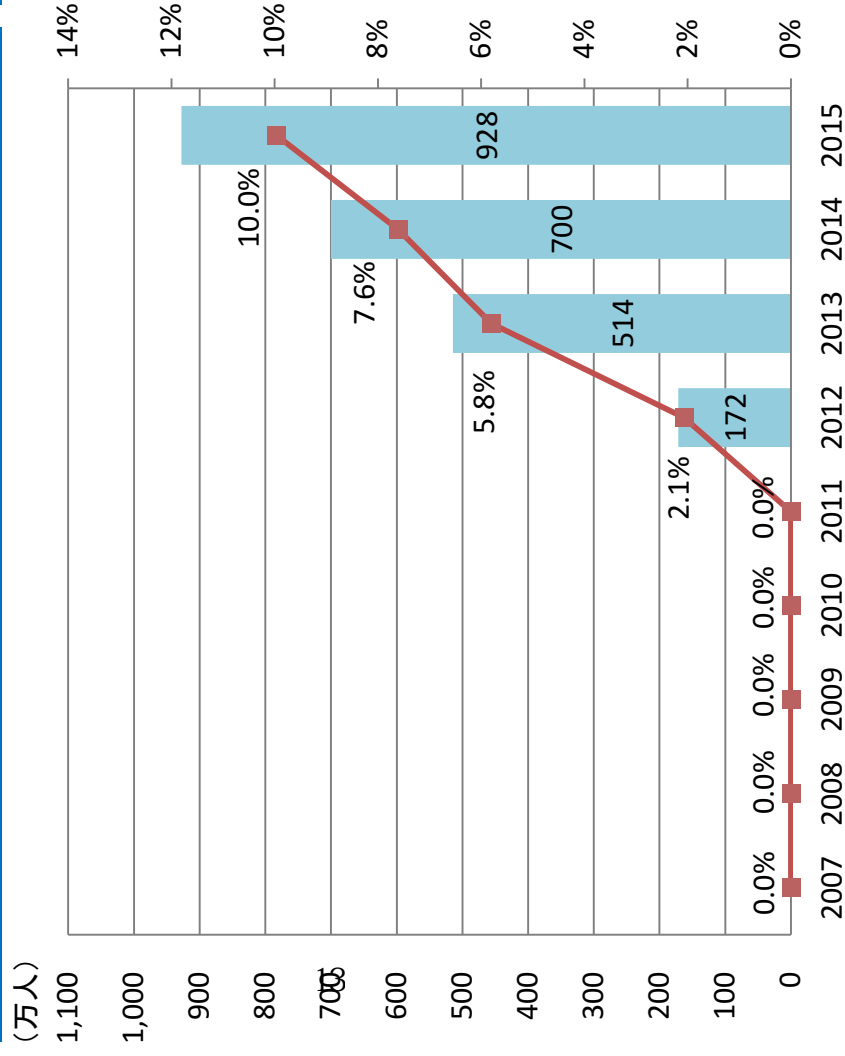


※ 中部－新千歳線及び中部－台北線のを就航に向けて準備中。（就航時期は未定）

我が国のLCC旅客数の推移

2015年のLCC旅客数シェアは、国内線で10.0%、国際線は13.5%

国内線LCC旅客数推移



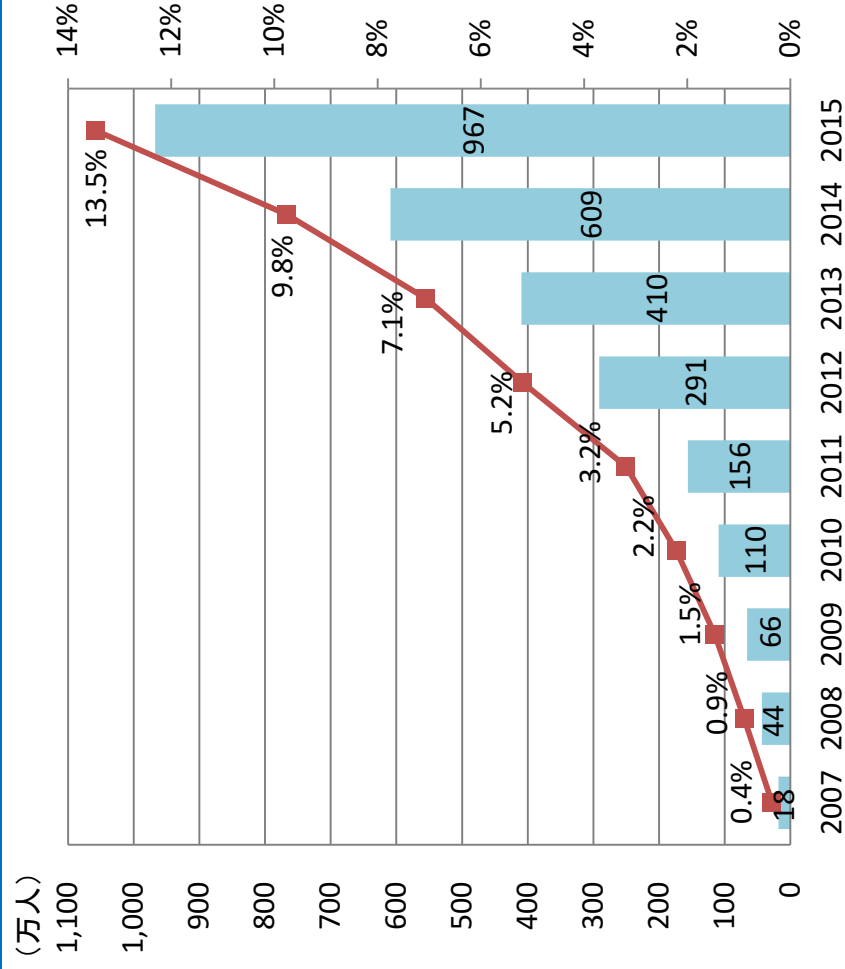
(左軸)

■ LCC国内線旅客数

(右軸)

■ 国際線LCCシェア

国際線LCC旅客数推移※



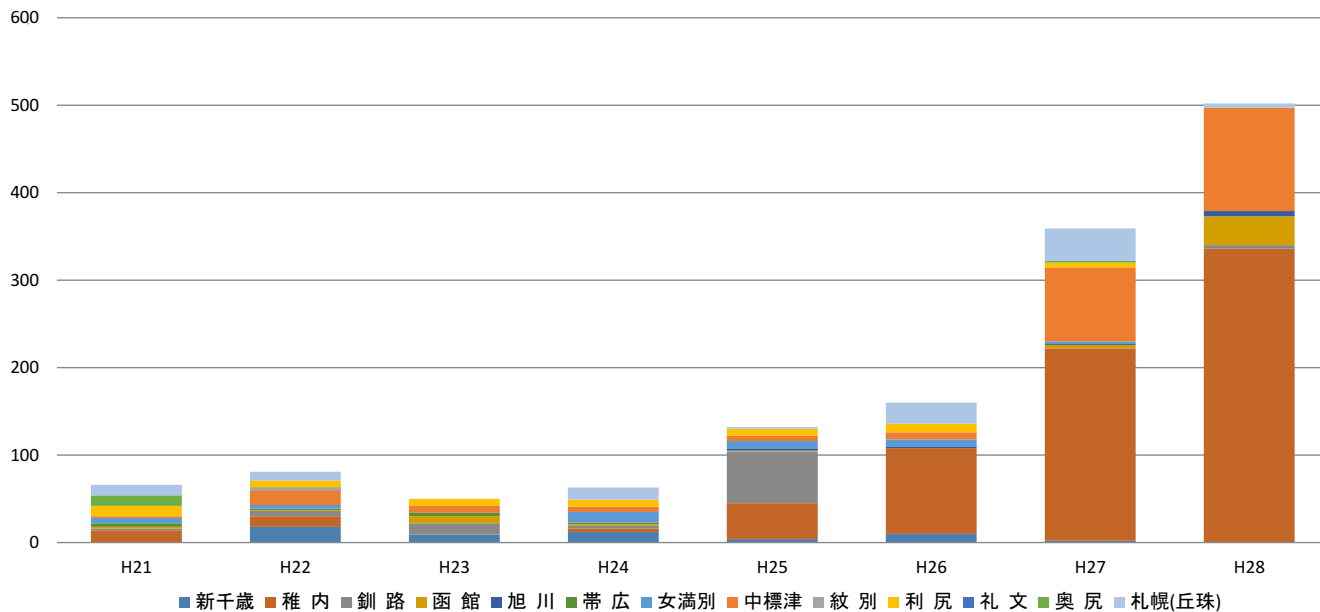
(左軸)

■ LCC国際線旅客数

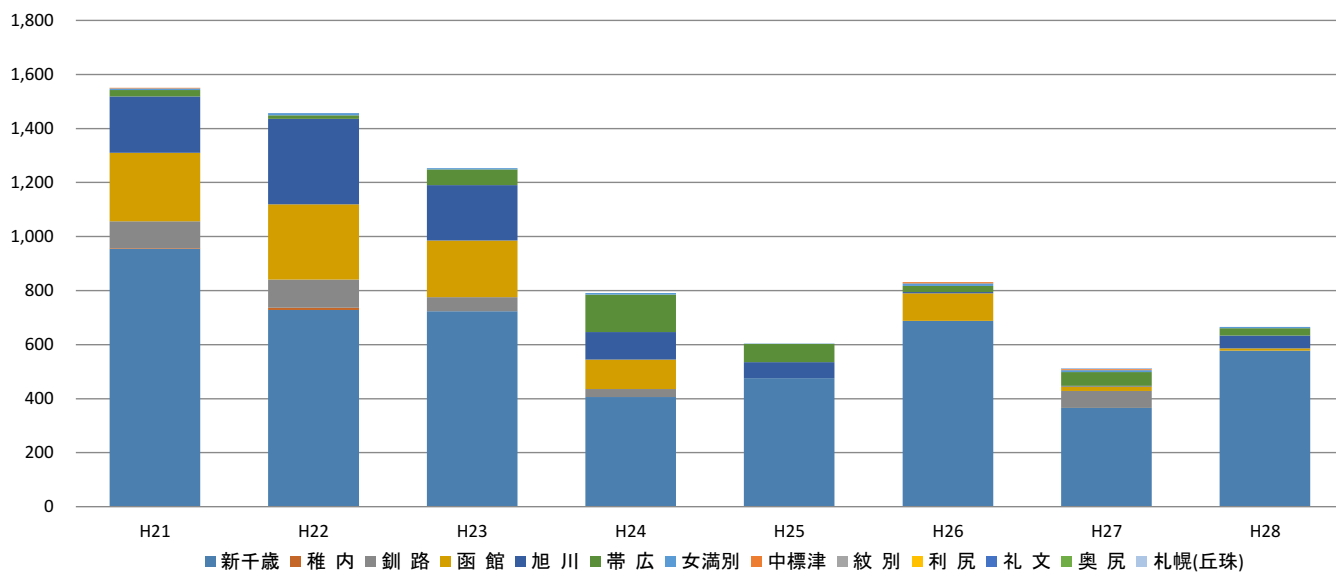
(右軸)

【チャーター便数の推移】

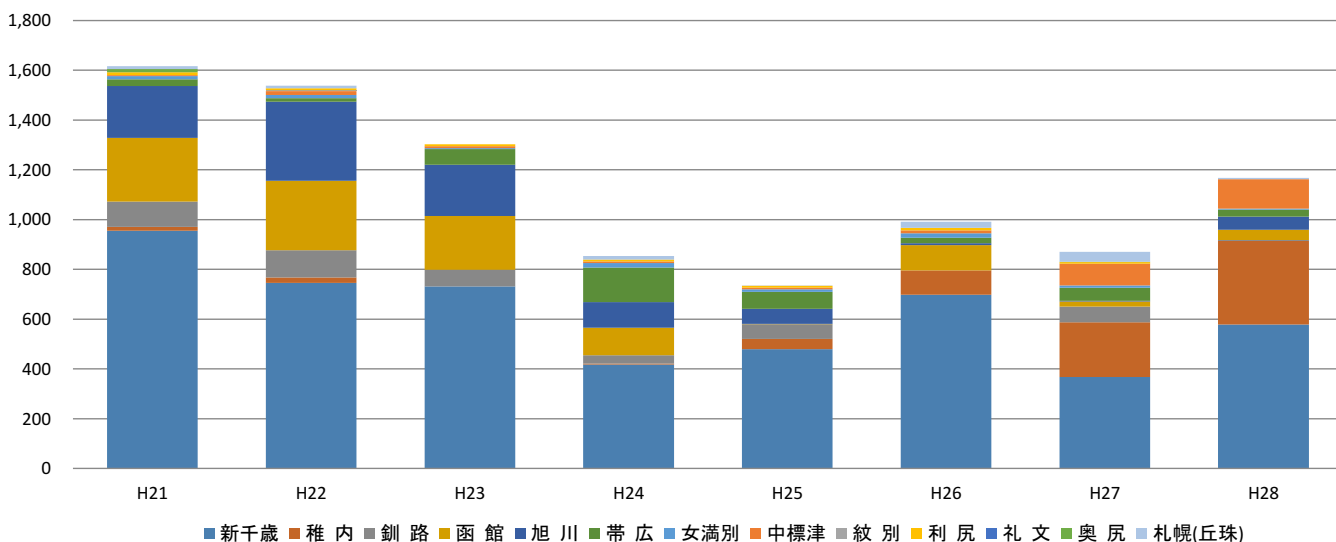
① 国内チャーター便



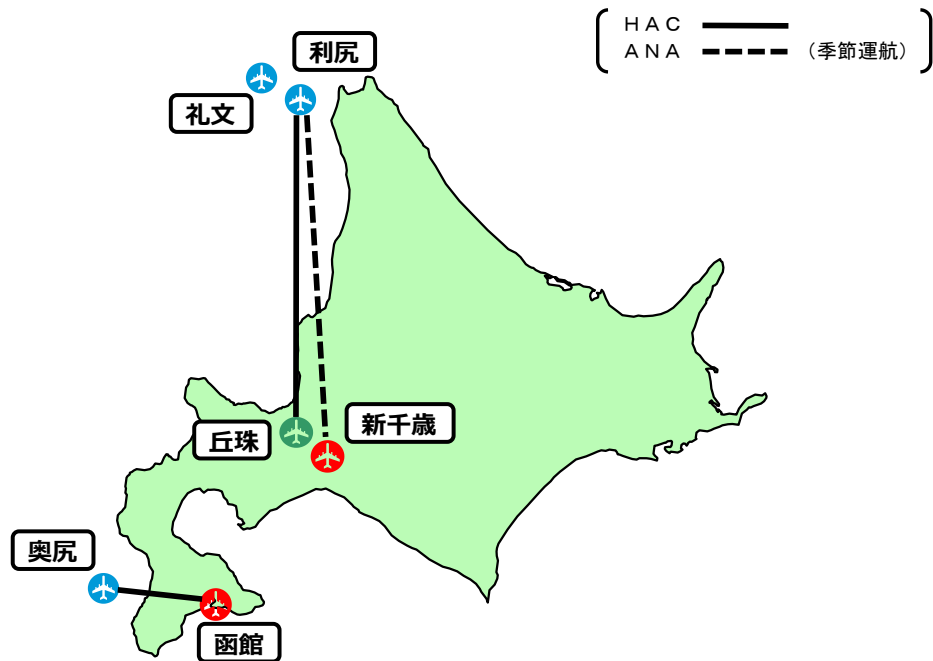
② 国際チャーター便



③ 合計



離島航空路の状況



① 離島航空路一覧

航空路	航空事業者名	便数
丘珠～利尻	㈱北海道エアシステム	1日／1～2往復
函館～奥尻	㈱北海道エアシステム	1日／1往復
新千歳～利尻	全日本空輸㈱	1日／1往復(6月～9月)

② 離島航空路における輸送人員の推移

(単位:人)

路線	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
丘珠～利尻	—	—	4,726	13,291	17,414	17,072	18,222
函館～奥尻	9,789	9,801	8,560	9,280	10,260	11,095	10,455
新千歳～利尻	28,067	25,088	17,669	16,181	18,029	18,444	18,573

国土交通省「航空輸送統計年報」より

③ 離島航空路線に対する支援

■ 運航費補助

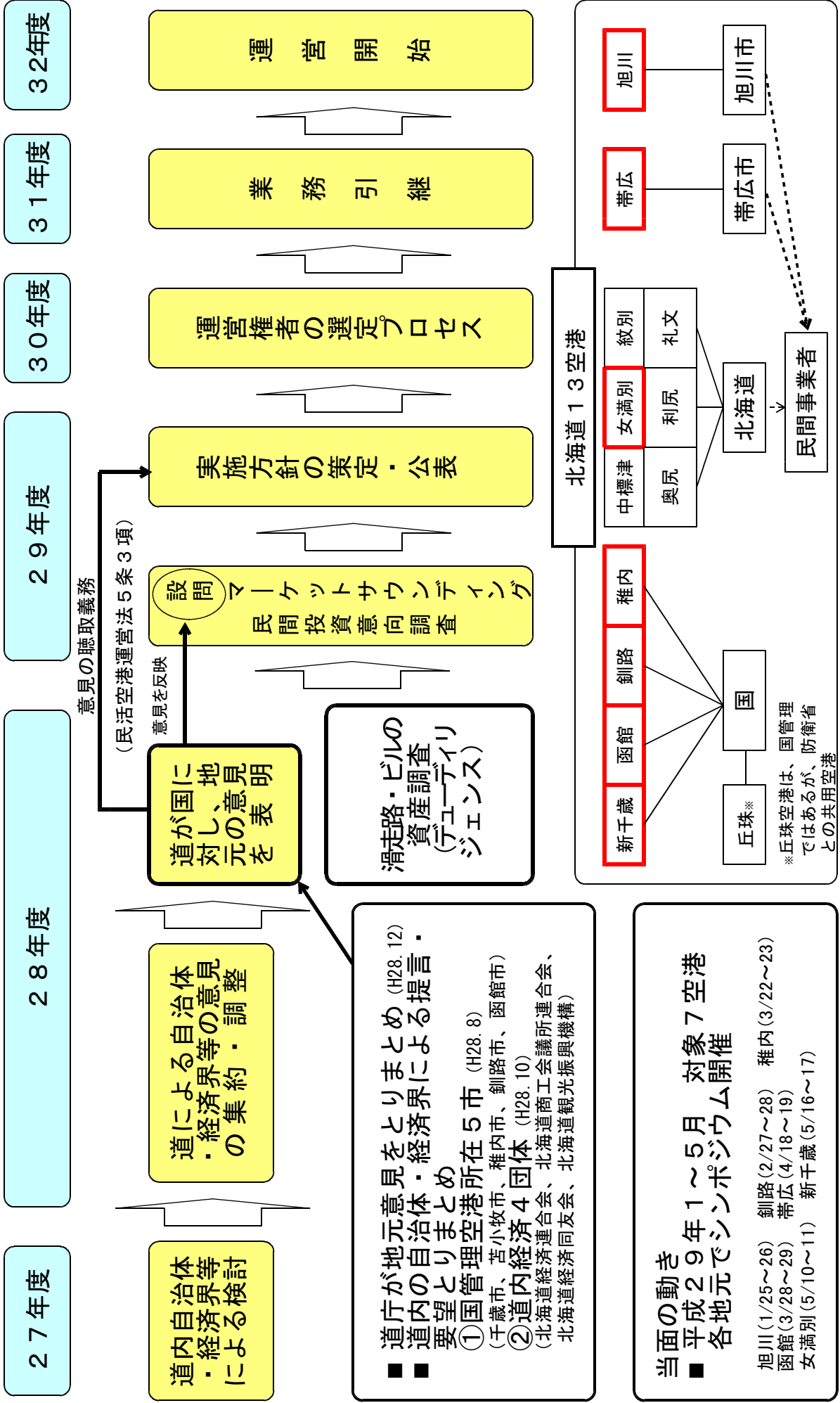
← 標準損失額 (国積算額) →		← 損失額 →		
← 国補助 →		← 追加 (上乗せ) 補助 →		事業者負担
国補助	道補助 (協調)	道補助 (追加)	町補助 (追加)	事業者負担

■ 離島住民割引 (運賃低廉化)

← 国交付金対象外 →		← 普通運賃 →			
← 国交付金対象外 →		← 国協調分 →		← 普通運賃 →	
事業者負担	町補助 (追加)	道補助	町補助	国交付金	離島住民割引後運賃

北海道の空港の運営委託に向けた取組状況

※スケジュールは手続きが最速で進んだ場合の想定であり、今後変更があり得る



広域観光周遊ルート形成促進事業及び認定された計画

広域観光周遊ルート形成促進事業

○外国人旅行者の地方への誘客を図るため、複数の広域観光周遊ルートを認定し、関係省庁の施策を集中投入するとともに、地域が推進する取組をパッケージで支援し、海外に強力に発信。

これまでの状況

平成27年6月12日に、7ルートを認定
 平成28年6月14日に、4ルートを追加認定
 (全国11ルート)

平成27年6月12日認定 (■)

- ①「アジアの宝 悠久の自然美への道 ひがし北・海・道」
(「プライムロード ひがし北・海・道」推進協議会)
- ②「日本の奥の院・東北探訪ルート」
(東北観光推進機構)
- ③「昇龍道」
(中部(東海・北陸・信州)広域観光推進協議会)
- ④「美の伝説」
(関西広域連合、関西経済連合会、関西地域振興財団)
- ⑤「せとうち・海の道」
(せとうち観光推進機構、瀬戸内観光ルート誘客促進協議会)
- ⑥「スピリチュアルな島～四国遍路～」
(四国ツーリズム創造機構)
- ⑦「温泉アイランド九州 広域観光周遊ルート」
(九州観光推進機構)

(注) 上段「」はルートの名称、下段() は計画の実施主体

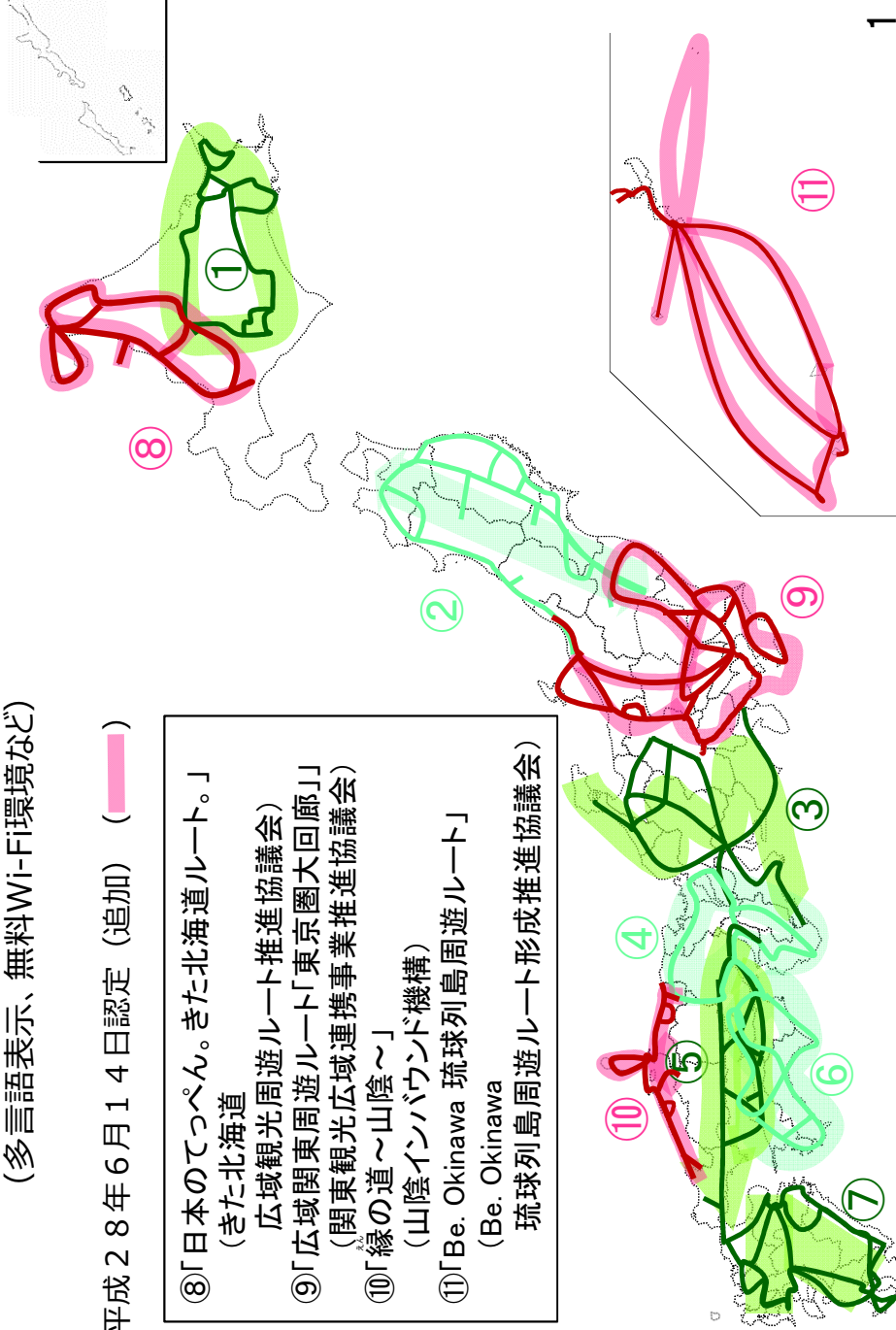
- モデルコース(平成28年4月26日公表)
- モデルコース(平成29年4月11日公表)

各ルートでの取組例

- ・マーケティング調査
- ・計画策定(専門家の招へい等を含む)
- ・観光資源の磨き上げ
- ・受入環境整備
(多言語表示、無料Wi-Fi環境など)
- ・海外プロモーションの実施
- ・広域周遊ツアーの企画・販売
- ・その他広域での地域共通の取組等

平成28年6月14日認定 (■)

- ⑧「日本のてっぺん。きた北海道」
(きた北海道 広域観光周遊ルート推進協議会)
- ⑨「広域関東周遊ルート「東京圏大回廊」」
(関東観光広域連携事業推進協議会)
- ⑩「縁の道～山陰～」
(山陰インバウンド機構)
- ⑪「Be. Okinawa 琉球列島周遊ルート」
(Be. Okinawa 琉球列島周遊ルート形成推進協議会)



「アジアの宝 悠久の自然美への道 ひがし北・海・道」 形成計画概要

名称・コンセプト

・ アジアの宝 悠久の自然美への道 ひがし北・海・道 *Hokkaido - Route to Asian Natural Treasures*

人と自然の織りなすデザイン。超自然が生んだ奇跡の絶景。

この道を旅する時の醍醐味は、めくるめく風景、大地から海への食に至るまで、どこまでも続くコントラスト。

世界でここだけのプライムロードひがし北・海・道。

・ 主な対象市場・ターゲット

- アジア～台湾、香港、タイ、シンガポール、中国、韓国 + インセンティブ、ラグジュアリー層旅行
- 欧米～米国、豪州、英国 など
- 大人の旅／グレード／時間&アクティヴ⇒富裕層～中間層・時間・時間のゆとりと行動志向の旅行者

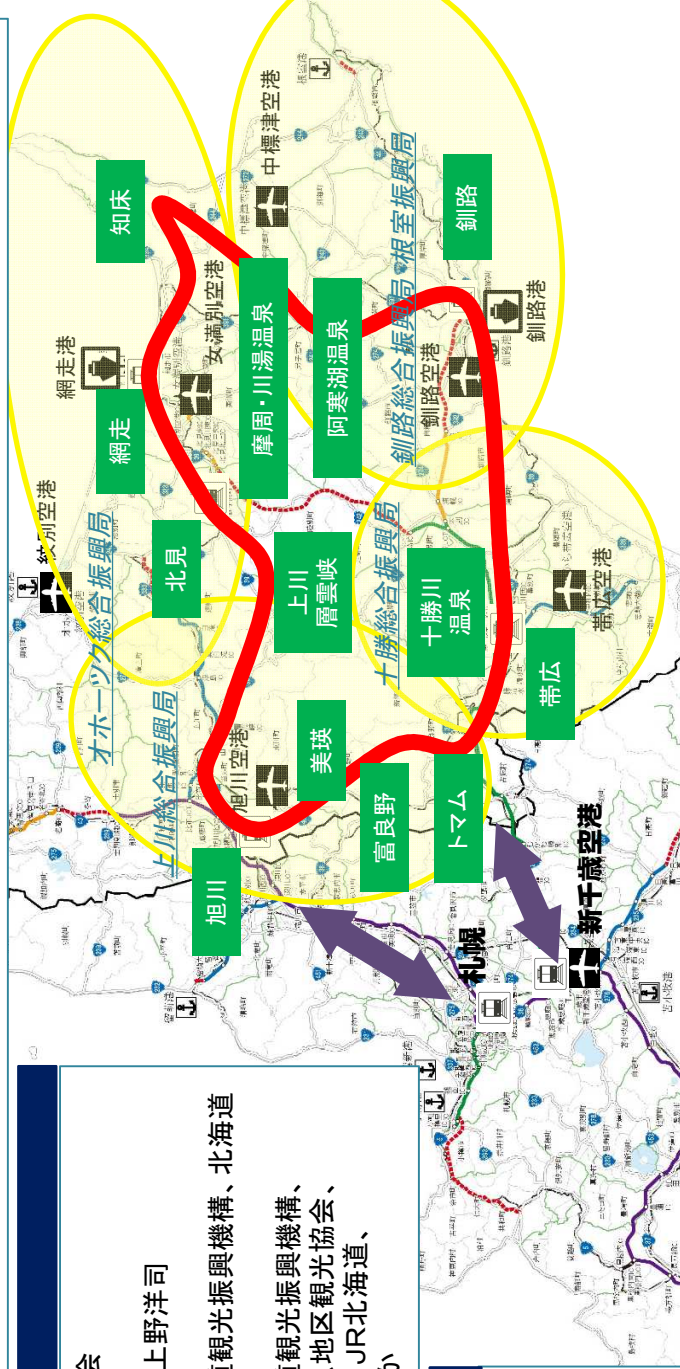
申請者（事業実施体制）

『プライムロード ひがし北・海・道』推進協議会

- ・ 会長
ひがし北海道観光事業開発協議会 会長 上野洋司
- ・ 事務局
ひがし北海道観光事業開発協議会、北海道観光振興機構、北海道
- ・ 構成員
ひがし北海道観光事業開発協議会、北海道観光振興機構、
広域観光団体（観光連盟、観光圏等）、拠点地区観光協会、
拠点地区市町村、各地方空港誘致協議会、JR北海道、
NEXCO東日本、JAL、ANA、AIRDO ほか

目標設定・成果把握・計画期間

- ・ 目標の設定
 - 訪日外国人客数の北海道シェア
14.5% (H31年度) * H25年度: 10.5%
 - 外国人延べ宿泊客数における北海道のシェア
14.5% (H31年度) * H25年度: 9.5%
 - 外国人延べ宿泊客数の道北・道東エリアのシェア
22% (H31年度) * H25年度: 18.8%
- 観光消費額(1人あたり)及び満足度調査結果を踏まえ設定
- ・ 成果の把握方法
 - JNTO、観光庁、北海道及び本事業独自調査により把握
- ・ 計画期間
 - 平成27年度から平成31年度まで



事業の概要

- ・ 広域で取り組む主な事業
 - (1) 事業計画認定・マーケティング
 - レンタカーデータ、本道最大の滞在拠点・札幌からの導線の調査
 - (2) 受入環境整備・交通アクセスの円滑化
 - 移動wifiの整備や、地方空港のゲートウェイ化を見据えた地上ルート形成施策
 - (3) 滞在コンテンツの充実
 - SNSによる商品開発、SNSから北海道各地の世界一
 - (4) 対象市場に向けた情報発信・プロモーション
- 統合WEBを観光圏などと連携で実現(ロマンチック街道HP参考)

広域観光拠点地区

主要広域観光ルート

広域観光促進地域

主要ゲートウェイ施設

「日本のてっぺん。きた北海道ルート。」形成計画概要

名称・コンセプト

◆ ルート名称

日本のてっぺん。きた北海道ルート。 Amazing Northernmost Japan, Hokkaido route
恵まれた大自然から享受する多様な食や景観。日本のてっぺんをめざし、北の大地、海、島を駆けのぼる。

Wonderful journey to the northernmost Japan and its remote islands - a route to discover a wealth of food and scenic beauty.

◆ 広域観光周遊ルートのコンセプト

「きた北海道」とインバウンドの一大拠点「札幌」「旭川」をつなぎ、国が目指すインバウンド誘致4,000万人の一翼を担い、観光先進国化に貢献する。

◆ 主な対象市場・ターゲット

アジア（香港、タイ、シンガポール、台湾等）、欧米（米国、豪州、英国等）
ターゲット：FIT、テーマ型ツーリズム（食／自然／森／湖／鳥など）、リピーター

申請者（事業実施体制）

きた北海道広域観光周遊ルート推進協議会

◆ 会長 工藤 広（宗谷観光連盟会長、稚内市長）

◆ 顧問 北海道知事、北海道観光振興機構会長、札幌市長、旭川市長

◆ 事務局 宗谷観光連盟（事務局総括）、公益社団法人北海道観光振興機構、北海道

◆ 構成員

宗谷観光連盟、（公社）北海道観光振興機構、広域観光団体（観光連盟等）、拠点地区観光協会、拠点地区市町、JR北海道、NEXCO東日本、JAL、ANA、AIRDO、HAC、北海道バス協会、北海道ハイヤー協会 ほか

目標設定・計画期間

◆ 目標設定・成果把握

○ 訪日外国人客数の来道者数 3,000千人（H32年度）* H26年度：1,541千人

○ 訪日外国人の北海道での延宿泊者数 8,000千人（H32年度）* H26年度：4,106千人

○ 札幌・旭川以外の当該エリアでの訪日外国人延宿泊者数 400千人（H32年度）* H26年度：174千人

○ 観光消費額（1人あたり）及び満足度 調査結果を踏まえ設定
・ JNTO、観光庁、北海道及び本事業独自調査により把握

◆ 計画期間 平成28年度から平成32年度まで

事業の概要（広域で取り組む主な事業）

(1) 事業計画策定・マーケティング

● ターゲット市場の現地消費者に対する調査

(2) 受入環境整備・交通アクセスの円滑化

● 外国人観光客に対応するバス運転手等の人材育成

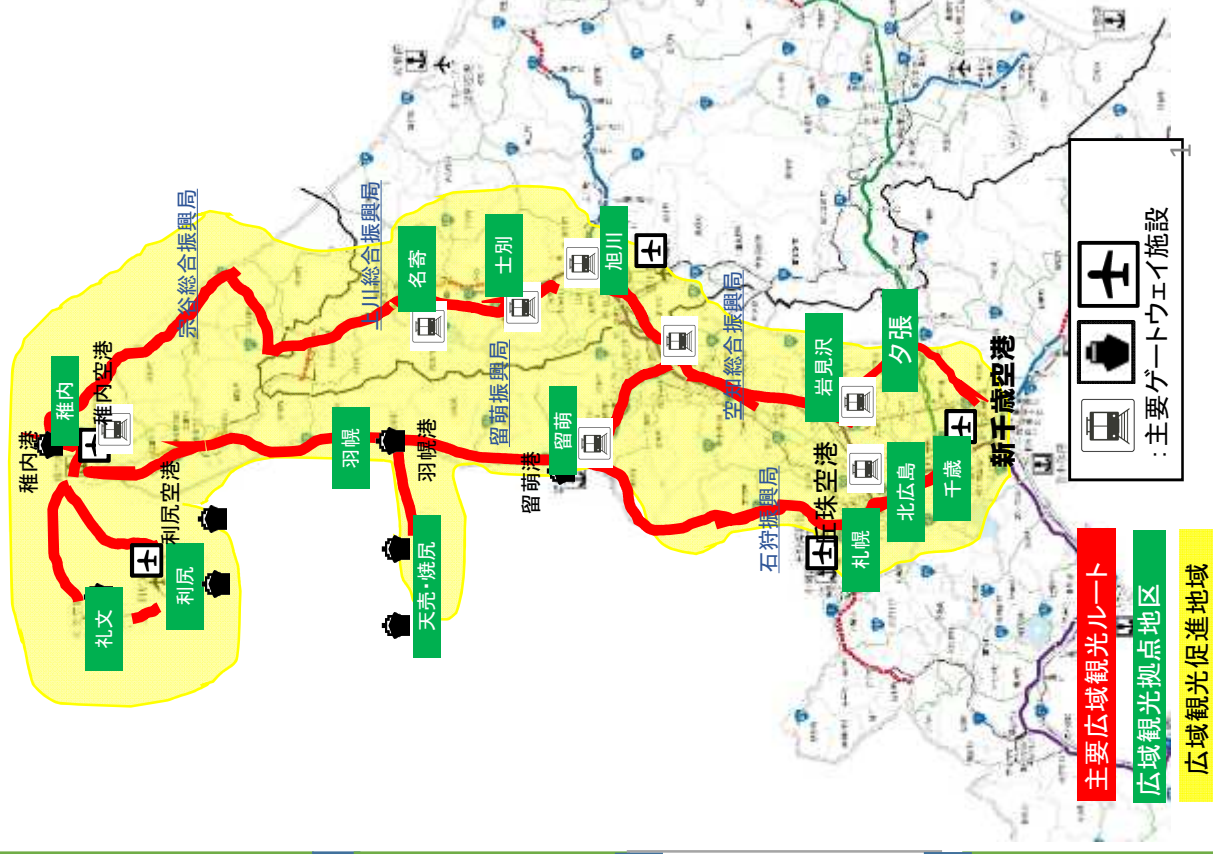
(3) 滞在コンテンツの充実

● FIT向けの特定目的に応じた滞在プログラムの開発と実証実験

(4) 対象市場に向けた情報発信・プロモーション

● 地方空港活用促進のためのプロモーション

対象地域の地図



航空・空港関係団体の取組

(北海道が構成員である主な団体について抜粋)

① 広域組織

名称(設置)	目的	構成員	主な取組(H28)
全国地域航空システム推進協議会 (S58.11.30)	会員相互の連絡連携により、地域航空に関する基礎的かつ総合的な研究調査を行い、地域開発の基盤となる地域間高速輸送網の発達に寄与する	会長 熊本県知事 構成員 北海道外39都府県、空港関係市町・協議会 ほか 事務局 日本航空協会	・国への要望 ・研修会等の開催 ・調査研究 ・広報活動 など
北海道地域航空推進協議会 (H3.2.12)	北海道における地域航空ネットワークの形成を推進し、本道の経済や産業の振興に寄与する	会長 道商連会頭 構成員 52団体(関係自治体、航空会社、空港ビル ほか) 事務局 道商連	・構成員に対する支援事業 ・勉強会の開催 ・13空港PRパンフレット作成 など
北海道空港協会 (S40.11.16)	空港政策を考究し、空港に関する認識を普及徹底し、空港の整備とその管理の改善を促進し、もって交通の発展と産業の振興に寄与するとともに、空港関係者の連絡協調を図る	会長 千歳市長 構成員 16団体(空港所在市町、道) 事務局 千歳市	・航空ページェントの開催(隔年) ・航空のタベの開催(隔年) など
北海道航空協会 (S39.5.19)	航空思想の普及啓蒙と、本道における航空諸般の発展に寄与する	会長 伊藤組社長 構成員 51団体(航空会社、民間企業経済団体 ほか) 事務局 伊藤組内	・国への要望 ・研修会等の開催 など
ひがし北海道5空港利用促進協議会 (H24.2.10)	ひがし北海道5空港(女満別、紋別、釧路、帯広、中標津空港)関係者が相互に連携及び協力し、広域的な観点から効果的な路線誘致や空港利用促進のための活動を行う	議長 航空局長 構成員 北海道(振興局)、大空町、美幌町、網走市、北見市、紋別市、釧路市、帯広市、中標津町、関係空港ビル、空港関係協議会 ほか 事務局 北海道	・国、航空会社への要望 ・情報等の共有、意見交換 など
北海道海外旅行促進事業実行委員会 (H22.4.28)	現在、定期航空路線が就航している地域及び今後、就航が期待される地域の観光地などを広く一般に周知する事業等を展開することにより、北海道民の海外旅行需要の拡大を図る	会長 道経連事務局長 構成員 32団体(道、新千歳空港国際化推進協議会、各政府観光局、航空会社、旅行会社 ほか) 事務局 道経連	・海外教育旅行支援事業、海外旅行フェア、政府観光局によるPR事業等の実施 など

② 個別組織

名称(設置)	目的	構成員	主な取組(H28)
新千歳空港連絡会 (H16.11.2)	新千歳空港への国際航空便の乗り入れに関して、北海道の経済発展等の地域振興及び航空自衛隊千歳基地の運用の観点から、関係機関の間で率直な意見交換と必要な調整を行う	座長 航空局長 構成員 北海道、航空自衛隊千歳基地、新千歳空港事務所 ほか 事務局 北海道	・新千歳空港への国際航空便の乗り入れに関する意見交換や調整 など
新千歳空港国際化推進協議会 (S62.7.3)	新千歳空港の国際化及び国際エアカーゴ基地の形成について調査検討を行うとともに、推進連絡活動を行い、もって本道の国際化や産業の振興に寄与する	会長 知事 構成員 31団体(北海道、札幌市、千歳市、苫小牧市、恵庭市、道経連、道商連 ほか) 事務局 北海道経済連合会	・国及び関係機関等に対する要望活動、需要開発、広報宣伝、調査活動 など
新千歳空港建設促進期成会 (S47.4.3)	新千歳空港の早期完成(空港機能の高度化)を図ることを目的に、請願・広報・調査等の各種活動を行う	会長 北海道商工会議所連合会会頭 構成員 20団体(副知事、札幌市・千歳市・苫小牧市長、道経連会長、経済同友会代表幹事 ほか) 事務局 北海道商工会議所連合会	・国及び関係機関等に対する要望活動、情報収集 など
国際航空便の受入円滑化に向けた検討会 (H27.1.30)	新千歳空港の国際航空便受入体制を強化しさらなる受入れ円滑化を進めるため、関係者が集まり、現在の諸課題を明らかにして解決に取り組む	構成員 北海道 航空局長、航空課長、国際観光担当局長、参事、CIQ、北海道開発局、JAL、ANA、CAST、HKK ほか 事務局 北海道運輸局、東京航空局	・新千歳空港における国際航空便の受入円滑化に向けた検討 など
新千歳空港利用者利便向上協議会 (H21.4.16)	空港法3条の規定に沿って、関係者が相互に連携及び協力し、新千歳空港の利用者の利便性の向上を図る	議長 新千歳空港事務所長 構成員 33団体(運輸局、開発局、関係市、道経連、道商連、航空会社、北海道空港、道 ほか) 事務局 新千歳空港事務所	・利便向上に向けた関係機関による検討、協議 など
札幌飛行場(丘珠空港)利用者利便向上協議会 (H26.9.18)	空港法3条の規定に沿って、関係者が相互に連携及び協力し、札幌飛行場(丘珠空港)の利用者の利便性の向上を図る	議長 丘珠空港事務所長 構成員 15団体(運輸局、開発局、札幌市、道商連、航空会社、丘珠空ビル、北海道 ほか) 事務局 丘珠空港事務所	・利用促進に向けた関係機関による検討、協議 など
丘珠空港の利活用に関する検討会議 (H28.7.27)	北海道と札幌市が丘珠空港の課題や役割などを様々な観点から検討し、利活用の促進策について協議する	構成員 2団体(北海道、札幌市) 事務局 北海道、札幌市	・課題、役割の整理 ・中間報告書の取りまとめ など

行政機関による主な施策と効果

① 国（国土交通省）

事業（施策）名	事業（施策）の内容	事業（施策）の効果
地方航空路線活性化プログラム （H26～28）	一定の航空需要があるが、代替交通機関がない、又は不便な条件不利地域を発生する航空路線であり、地域主体で路線維持に向けた取組を継続している路線について、国として評価した路線維持に向けたモデル的取組に係る実証調査を実施 【道内採択路線】 釧路～丘珠線（HAC） 紋別～羽田線（ANA）	【釧路～丘珠線（HAC）】 （利用者数目標：実績） H26：54% → 60.0% H27：55% → 62.1% H28：60% → 67.6% 【紋別～羽田線（ANA）】 H27：直行便通年運航再開後、順調に搭乗者を伸ばし、搭乗者数72,276人、搭乗率60.8%と共に路線就航以来最高となった。 H28：72,029人（東京航空局速報値）

② 道

事業（施策）名	事業（施策）の内容	事業（施策）の効果
道内空港国際航空定期便就航促進奨励事業（H9～毎年）	道の要請に応じて、道内空港に国際旅客定期便を就航させ航空会社に対し、運航に直接要する経費（グランドハンドリング料、空港施設使用料等）を支援	【新規就航実績】 H26：3社、5路線 H27：3社、3路線 H28：4社、5路線
北海道新幹線二次交通等整備事業（H28）	函館空港と道内他空港との間に航空路線を運航する航空会社、旅行商品を販売する旅行会社に対し支援	【新規就航実績】 H28：2社、3路線
道内地方空港新規路線誘致促進事業（H28）	道外国際空港と新千歳空港を除く道内空港との間に新たな定期航空路線を就航する航空会社に対し支援	【新規就航実績】 H28：2社、3路線

③ 離島路線への支援（国・道・関係町）

事業（施策）名	事業（施策）の内容	事業（施策）の効果
地域公共交通確保維持対策事業（H24～28）	生活路線として不可欠な離島航空路線を運航する航空事業者に対し、運航費、島民運賃割引に係る経費を支援	離島航空路線の維持・確保、島民による利用促進が図られた。

④ 着陸料の軽減（国・道・関係市）

事業（施策）名	事業（施策）の内容	事業（施策）の効果
着陸料の軽減	路線収支を改善し、路線の維持・確保のため、着陸料を軽減	航空事業者の負担が軽減され、路線の維持・確保が図られた。